

1977年12月 3日(土)～12月18日(日)

浮世絵に見る東海道五拾三次と平塚宿展

神奈川芸術祭、県立博物館所蔵品展として、丹波コレクション約 6,000 点のうち、初代広重の「東海道五拾三次（保永堂版）」55 枚と平塚宿関係の浮世絵 28 点を選び展示した。「東海道五拾三次（保永堂版）」このシリーズは天保 4 年（1833）～5年に描かれたもので、風景版画の傑作として、最もポピュラーなものである。この55点を特別展ケース内壁面とステージ面に等間隔に配し、平塚宿関係浮世絵は初代広重の 10 点、北斎 4 点、二代広重 2 点、国貞 2 点、三代豊国 2 点、英泉、豊広、重宣、立祥、三代広重、春齋英笑、芳幾、芳年各 1 点ずつケース内展示。

リーフレット B 5 変形、2 折、両面一色刷り。

内容 東海道五拾三次（保永堂版）について
出品リスト・平塚宿・出品リスト・図版 3 点。

ポスター B 3 サイズ 2 色刷り。